

復活祭

ヨハネ福音書
20:19~31

「史上最大の
しるし」

~主の十字架の死
葬り・復活~

新型コロナウイルス 世界的感染拡大の中で!!

実は、私たちの体の中には、
様々なウイルスが共存している。

赤ちゃんが育つのに欠かせない胎盤も、
ウイルスの助けがなかったら作ることが
できない!!

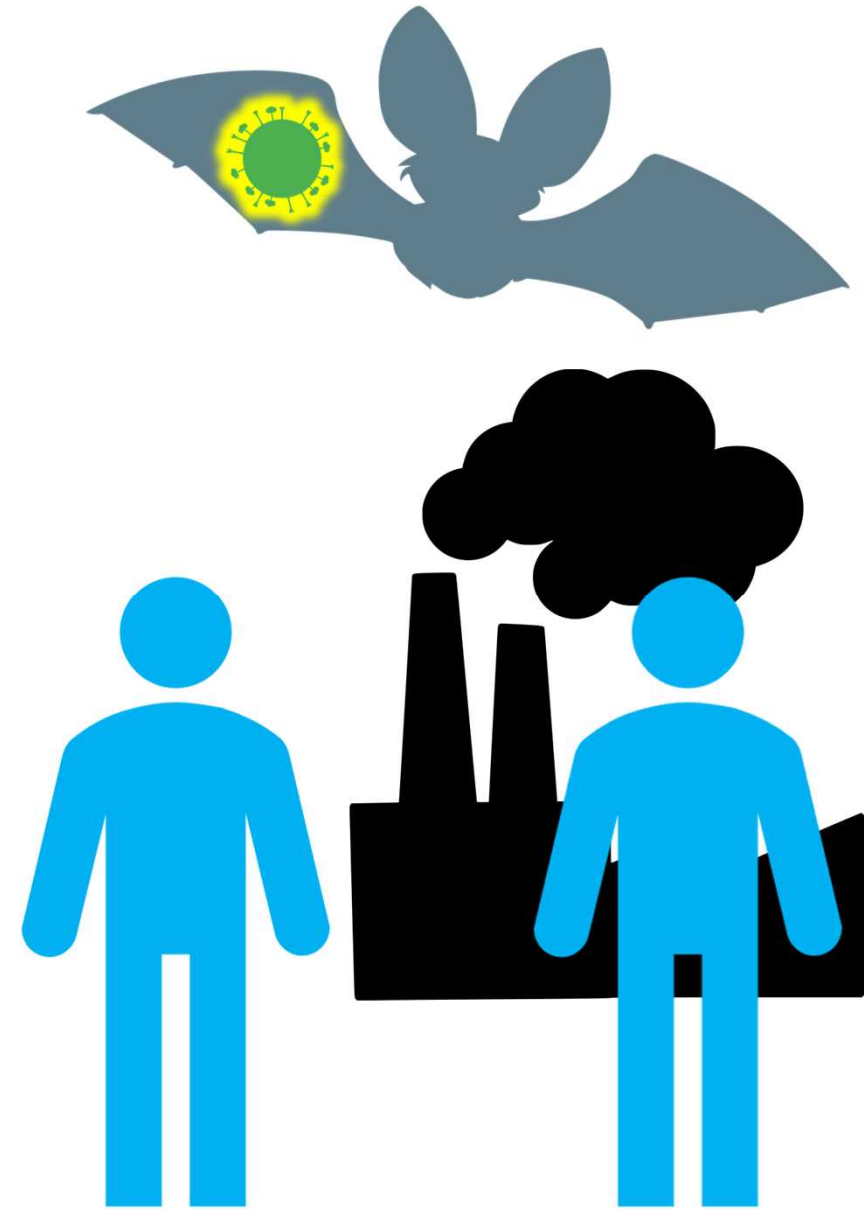
ウイルスも、神様が造られたということ!!

どうして
悪さをする
ウイルスが
いるの？



【新型コロナウイルスはどこから来た？】

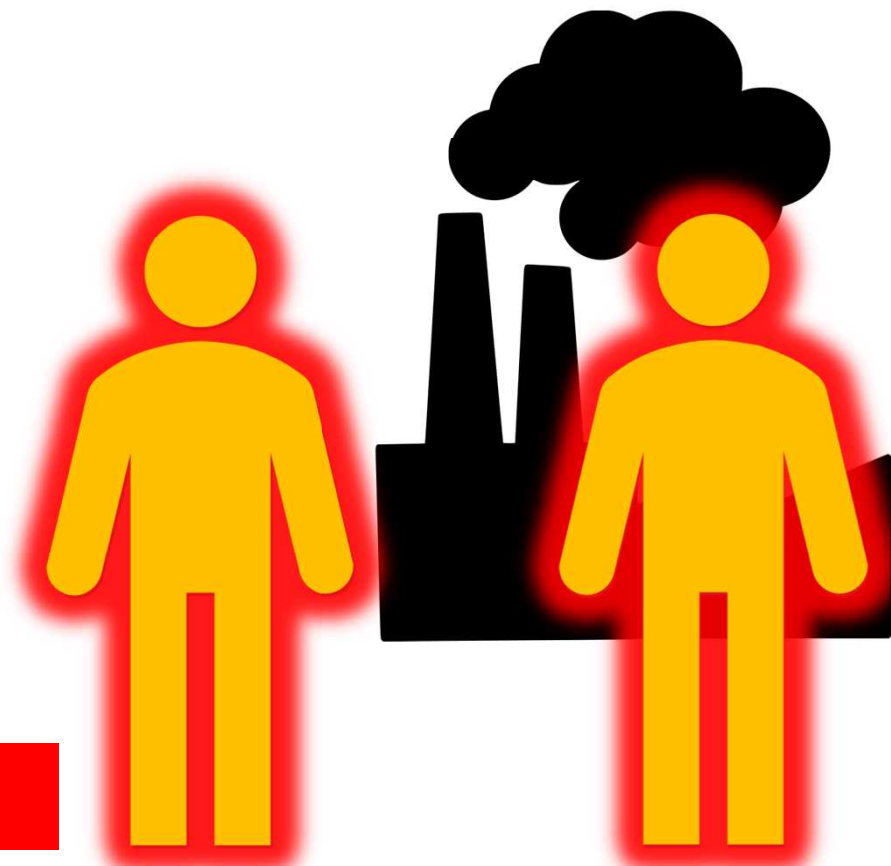
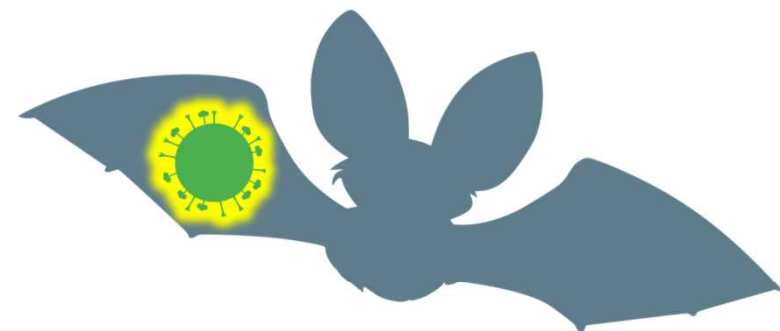
- 新型コロナウイルスも、もともと、他の動物の中で平和に共存していた。
- しかし、人間が、野生動物を無節操に捕らえて食べたり、環境を破壊したため、人間と接触する機会が増え、ふとしたきっかけで、人間に感染した。



【新型コロナウイルスはどこから来た？】

- 新型コロナウイルスも、もともと、他の動物の中で平和に共存していた。
- しかし、人間が、野生動物を無節操に捕らえて食べたり、環境を破壊したため、人間と接触する機会が増え、ふとしたきっかけで、人間に感染した。
- さらに、変異して、人間から人間へ感染するようになってしまった。

ほんとうの原因は、人間の罪にある



【終わりの始まりの時代】 ルカ福音書21:10～11
それから、イエスは彼らに言われた。

「民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、
大地震があり、方々に疫病やききんが起こり、
恐ろしいことや天からのすさまじい前兆が現
れます。」

■ 20世紀に、世界大戦が勃発した。

■ 20世紀以降、地震は激増の一途。

1918年、スペインインフルエンザの大流行。

以降も繰り返される、感染症の流行。

貧富の差は広がり、世界的飢饉も拡大。

■ 大患難時代には、空前絶後の災厄が!!

いつかは分からないが、必ず来る。

私たちの救いは、どこにある？

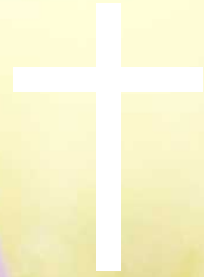


全世界で1億人以上の
死者を出した
スペインインフルエンザ

【今日のアウトライン】

- I. イースターって？
- II. 出エジプトとメシアの生涯
- III. 史上最大のしるし
- IV. まとめと適用
 - 生きておられる
 - 主を求めよう





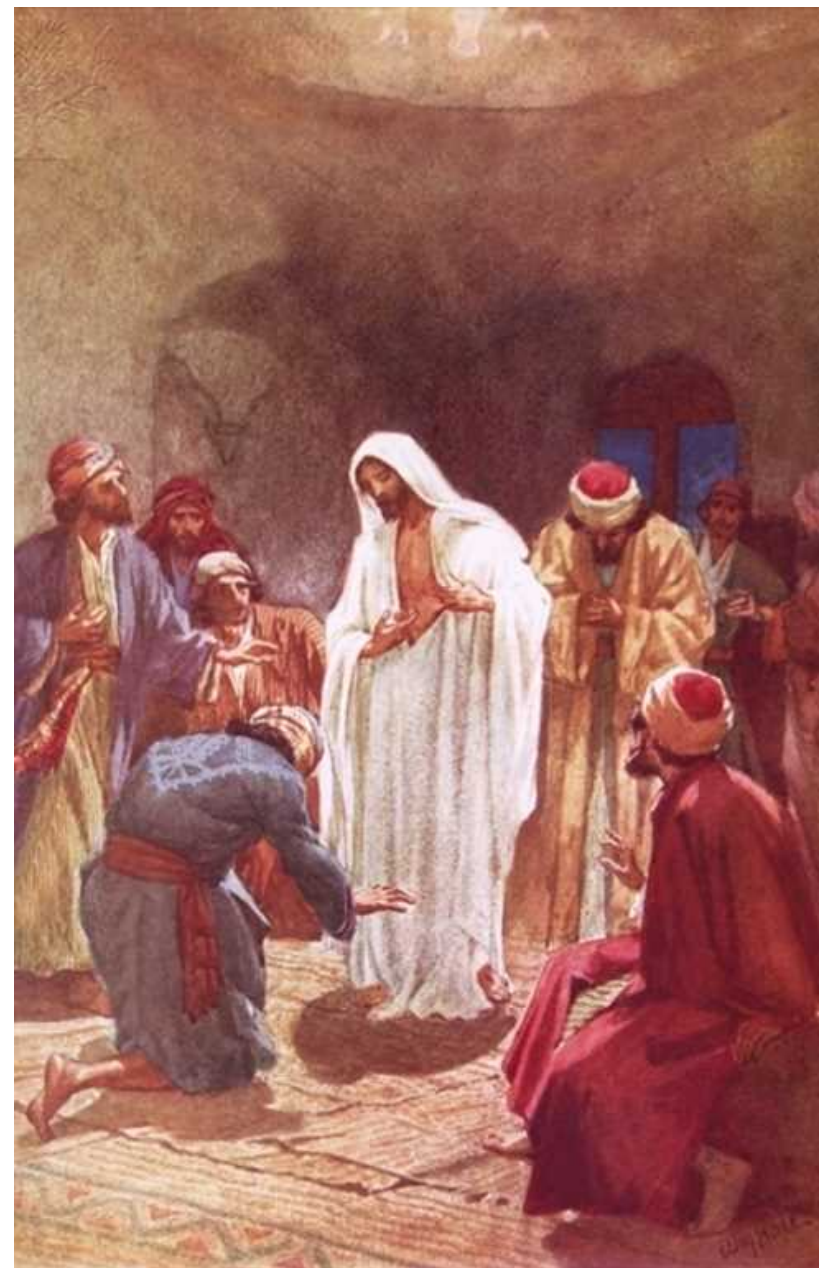
I. 復活祭と過越祭

イースターとは？

★イエス・キリストの復活祭★

十字架で死んだイエス・キリストが
三日目に復活したことを
記念する日です。

「春分の日後の
最初の満月の次の日曜日」
※毎年、変わります!!



イースターという言葉は、聖書にない!!

ゲルマン神話の春の豊穡の女神

「エオストレ」から「イースター」に?!

ゲルマン人がキリスト教徒になり、

復活祭が祝われるようになると、

ゲルマンの習慣がくみいれられた?

(諸説あり)

多産のウサギは、豊穡の象徴。

(聖書とは無関係)



タマゴの起源は？（諸説あり）

- ★ユダヤの「過越祭(すぎこしさい)」では、タマゴを食べる。
- ★本来は、神殿で献げた羊を食べた。
- ★紀元70年、エルサレム神殿が、ローマに破壊されて以降、タマゴが代用品として食べられるように。



イエス・キリストが、
十字架で死んで、復活したのは、

ユダヤの春の祭り、
「**過越祭(すぎこしさい)**」の
まっただなか。

過越祭は、
イスラエルが奴隷から解放され、
民族として誕生した、
出エジプトを記念する、
ユダヤの大切なお祭りです!!



現在のユダヤ人家庭での過越祭



家族が集い、イスラエル民族の起源を学びます。

イースター・復活祭の本当の起源は、
「ユダヤの過越祭」

■ 英語圏、ドイツ語圏以外での呼び方は、
ロシア正教会では、パスハ
カトリック教会では、パスカ
スペイン語では、パスクワ

■ ヘブライ語の「ペサハ(過越祭)」から!!
それがどうしてイースターに？

※反ユダヤ主義の影響も？



イースターの本当の起源は、ユダヤの過越祭

イースター・復活祭の中心は、
イエス・キリストの復活!!

クリスマスよりも大切なのが、復活祭



Ⅱ. イスラエルの出エジプトと メシアの生涯






神との約束を破ったことが、
人の罪の始まりだった。

罪の結果が「死」。
死とは、神との関係の断絶。

肉体の死は、霊的死の結果。

すべての人は罪人であり、
滅びに瀕している。



人を滅びから救うため、
神は、メシア(救い主)を送ると、
一方的に約束された。

罪の贖いには、犠牲が必要。
メシアは犠牲を払い、
人を罪から解放する。

「わたしは、おまえと女との間に、
また、おまえの子孫と女の子孫との
間に、敵意を置く。

彼は、おまえの頭を踏み碎き、
おまえは、彼のかかとかみつく。

創世記3:15」

「地上のすべての民族は、
あなたによって祝福される。
創12:3」



人間の良心も組織も、神との
平和を造りだせなかった。

神の計画は、アブラハムから、
一つの神の民族を育むこと。

「アブラハムの子孫を繁栄させ、
約束の土地を与え、その子孫
からメシアが現れる。」

神が一方的に約束された、
この「アブラハム契約」が、
アブラハムと子孫を導いた。

出エジプトが、
イスラエル民族誕生の時!!



アブラハムの孫ヤコブの代に、
一族は、大飢饉を逃れて、
エジプトに移住した。

430年の奴隷の苦役の間にも、
イスラエルは繁栄し、一つの
民族に成長した。

神は、モーセを指導者に命じ、
イスラエルをエジプトから脱出
させた。



神は、出エジプトの前に
エジプトに十の災いをくださった。
イスラエルを苦しめ、偶像を
崇拜した罪への裁きだった。

十番目の最後の災いは、
すべての初子(長子)の命を奪った。

この裁きからイスラエルを守るため
神は小羊を屠り、血を家の入り口
に塗るように言われた。

これが最初の「過越祭」。
イスラエルは、永遠に、この祭りを
祝うよう命じられた。

苦難の中で、イスラエルがメシアを
求める思いは、高められていった!!



約束の地に王国を築き、
栄えたのもつかの間。

神の律法に背き、偶像礼拝を
重ねたイスラエルは、ついに
神の裁きを受けた。

バビロニアに、都エルサレムを
破壊され、多くが捕囚となった。

帰還後も、イスラエルの闇の
時代は何百年も続いた。



過越祭も、出エジプトも
メシアを示す影に過ぎなかった!!

2千年前、メシアが誕生した。
ユダヤのベツレヘムで、処女
マリアから生まれたイエス。
すべて預言の通りだった。

2歳にして、ヘロデ大王に命を
狙われたイエスは、両親と共に
一時、エジプトに逃れた。

イスラエルの出エジプトという
壮大な歴史的イベント全体が、
メシアを指し示していたのだ!!



「はっきり言っておく。アブラハムが生まれる前から、『わたしはある。』ヨハネ 8:58」

数々の奇跡は、イエスこそ、
イスラエルのメシアである証拠

イエスは、公生涯の初め、ヨルダン川で洗礼を受けられた。かつて、イスラエルが海を渡り、ヨルダン川を渡ったように。

イスラエルが、荒野で天のパンに養われたように。イエスは、5つのパンで5千人を満腹させた。

神は、海を分けられたが、イエスは、海の上を歩かれた。

「取って食べなさい。
これはわたしのからだです。」
「みな、この杯から飲みなさい。
これは、わたしの契約の血です。
罪を赦すために多くの人のために
流されるものです。」 マタイ26:26～28



三年後の「過越祭」の夜。
イエスは、弟子たちとの
過越の食事の場で、
驚くべき宣言をされた。

その意味することは、
イエスこそ、人の罪をあがなう
犠牲の小羊だということだった。

次に、弟子たちが、イエスと
過越の食事を共にするのは、
主イエスの再臨後の
「千年王国」において。

「わが父よ。できますならば、この杯を
わたしから過ぎ去らせてください。しかし、
わたしの願うようにはなく、あなたのみ
こころのように、なさってください。」
マタイ 26:39

イスラエルの指導者たちは
「イエスは悪霊だ」と拒否した。

イスラエルの民族的拒絶に
対し、民族的裁きが決定した。

(エルサレム陥落70年)

十字架目前の過越の晩に、
イエスに明らかにされたのは、
神の怒りの杯を受け、
父と完全に断絶されるという、
言語を絶する受難だった。

「なお、あなたがたに言うておきますが、
今からのち、人の子が、力ある方の右
の座に着き、天の雲に乗って来るのを、
あなたがたは見ることになります。」

マタイ26:64



イエスはユダの裏切りによって
捕らえられ、ユダヤ議会は、
神への冒瀆罪に定めた。

そして、死刑執行の権限がある
ローマ総督ピラトに引き渡した

ピラトは、イエスの無罪を知り
ながら、議会と群衆の圧力にな
びき、十字架刑を宣告した。

「ユダヤ人の王」それが、
ピラトの記した罪状だった。

「父よ彼らをお赦してください
彼らは何をしているのか
自分で分からないのです」

ルカ23:34

「まことに、あなたに告げます。
あなたはきょう、わたしとともに
パラダイスにいます。」 ルカ 23:43

イエスが十字架にかけられた
午前9時。神殿では、最も重要な、祭司のための犠牲の羊が
ささげられていた。

あざける人々のためにも、
イエスは祈られた。
隣で十字架にかけられた一人
の罪人は、イエスをメシアと
信じて、救われた。

正午から三時まで、闇が地を
覆った。神の怒りが、イエスに
注がれていたのだ。

イエスは大声で叫んで、言われた。
「父よ。わが霊を御手にゆだねます。」
こう言って、息を引き取られた。

ルカ 23:46

イエスは、「完了した」と叫び
息を引き取られた。

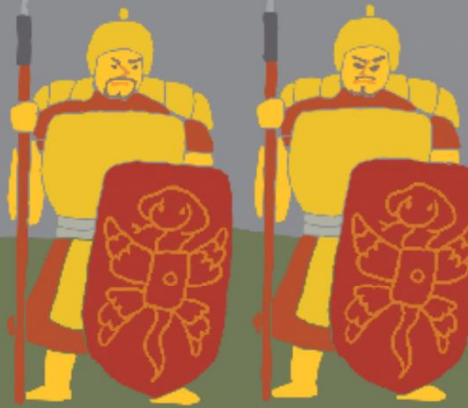
神の怒りを身に受けて、私たち
の罪の代価を支払われたのだ。

主イエスの十字架の死は、
わたしの罪のためだった。

信じたものは、罪をゆるされ、
神の目に義と認められる。

ガリラヤからイエスといっしょに出て来た女
たちは、ヨセフについて行って、墓と、イエス
のからだの納められる様子を見届けた。
そして、戻って来て、香料と香油を用意した。
安息日には、戒めに従って、休んだ。

ルカ23:55～56



身を明かした隠れ弟子が、
イエスの遺体を葬った。

イスラエル指導者は、ローマ
に墓の番を依頼した。兵士に
は、命がけの任務だった。

弟子たちが死体を盗み、
イエスの復活を言いふらす
ことを彼らは恐れたのだ。

逃げ出した当の弟子たちは、
復活の予告を忘れていた。





Ⅲ. 史上最大のしるし

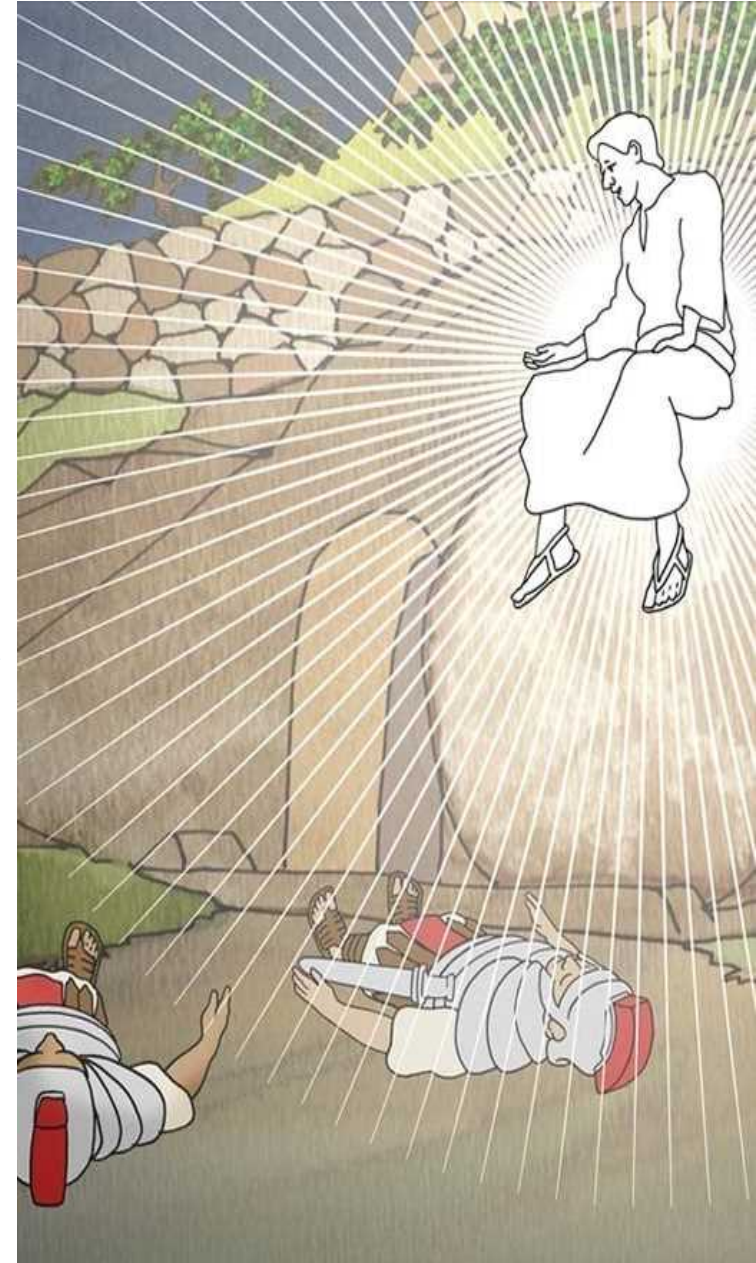
ルカ24:1～12

【天使の出現】 マタイ28:2～4

■ 弟子たちがイエスの遺体を盗むのを阻止するため、ローマ兵が墓の晩をしていた。

「すると、大きな地震が起こった。それは、主の使いが天から降りて来て、石をわきへころがして、その上にすわったからである。その顔は、いなずまのように輝き、その衣は雪のように白かった。番兵たちは、御使いを見て恐ろしさのあまり震え上がり、死人のようになった。」

■ 兵士たちは、逃げだした。



【女たち、墓へ】 ルカ24:1

週の初めの日*の明け方早く、女たちは、準備しておいた香料*を持って墓に着いた。

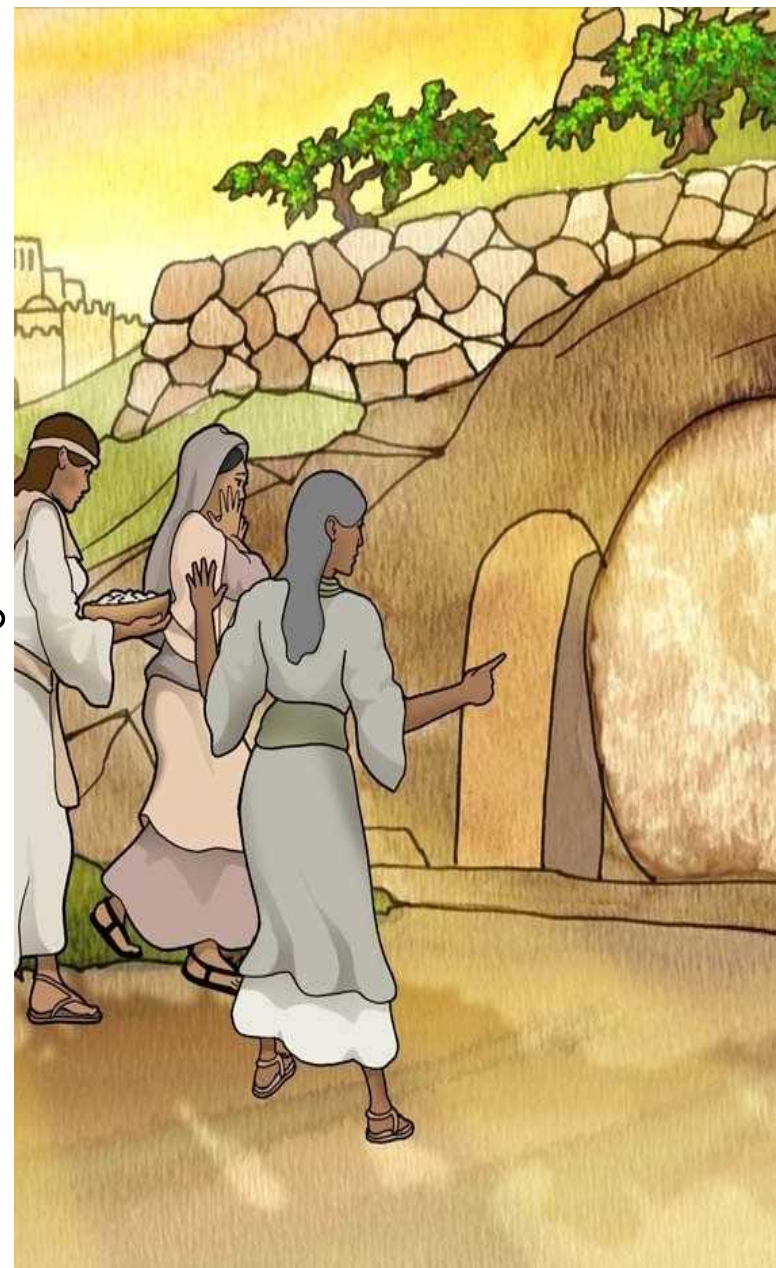
* 過越祭後の日曜日。「初穂の祭り」の日。
その年に最初に収穫した大麦をささげた。

■ キリストは、「復活の初穂」

⇒信者も、主に続き、復活する時が来る!!

* 香料 ...遺体に塗る乳香。

慌ただしい埋葬に、改めて丁寧にやり直そうとしたのだろう。

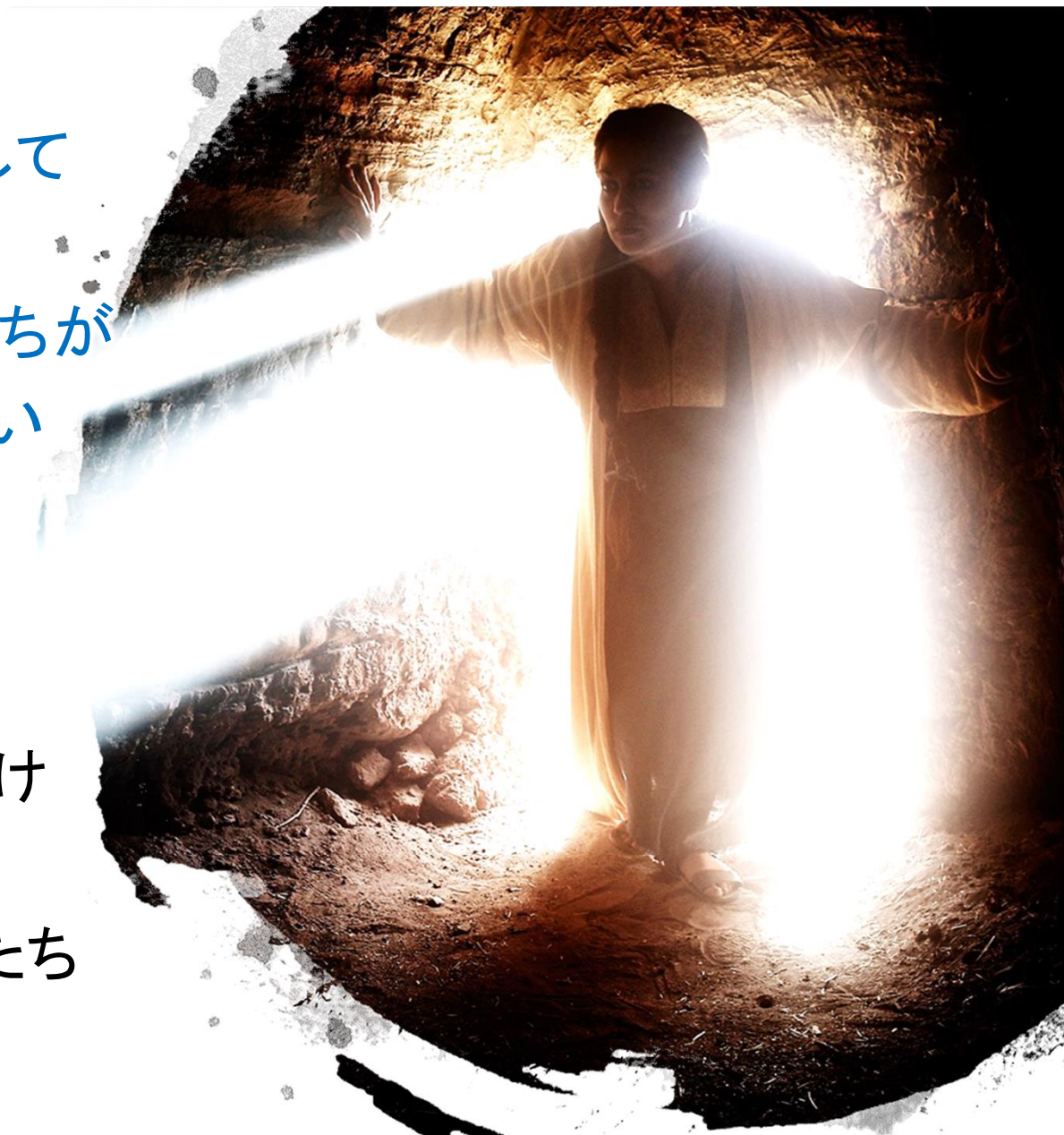


【二人の天使】 ルカ24:2～4

見ると、石が墓からわきまにころがしてあった。入って見ると、主イエスのからだはなかった。*そのため女たちが途方にくれていると、見よ、まばゆいばかりの衣を着たふたりの人が、女たちの近くにきた。

* イエスの遺体を巻いていた布だけが残っていた。(ヨハネ20:6～7)

■ 事態がまったく理解できない女たち



【主は復活された】 ルカ24:5～6

恐ろしくなって、地面に顔を伏せていると、その人たちはこう言った。「あなたがたは、なぜ生きている方を死人の中で捜すのですか。ここにはおられません。よみがえられたのです。まだガリラヤにおられたころ、お話しになったことを思い出さない。」

- イエスは、今、どこにおられるのか？
十字架の上でも、墓の中でもない。
- 復活の後、50日後に天に昇られ、
大祭司として、神の右の座におられる。



【信ずべきは福音】 ルカ24:7～8

「人の子は必ず罪人らの手に引き渡され、十字架につけられ、三日目によみがえらなければならない、と言われたでしょう。」
女たちはイエスのみことばを思い出した。

■今の時代に思い起こすべきは、「福音」

「主イエスは、

- ①私の罪のために十字架にかけられ、
- ②死んで葬られ、
- ③三日目に復活された。」

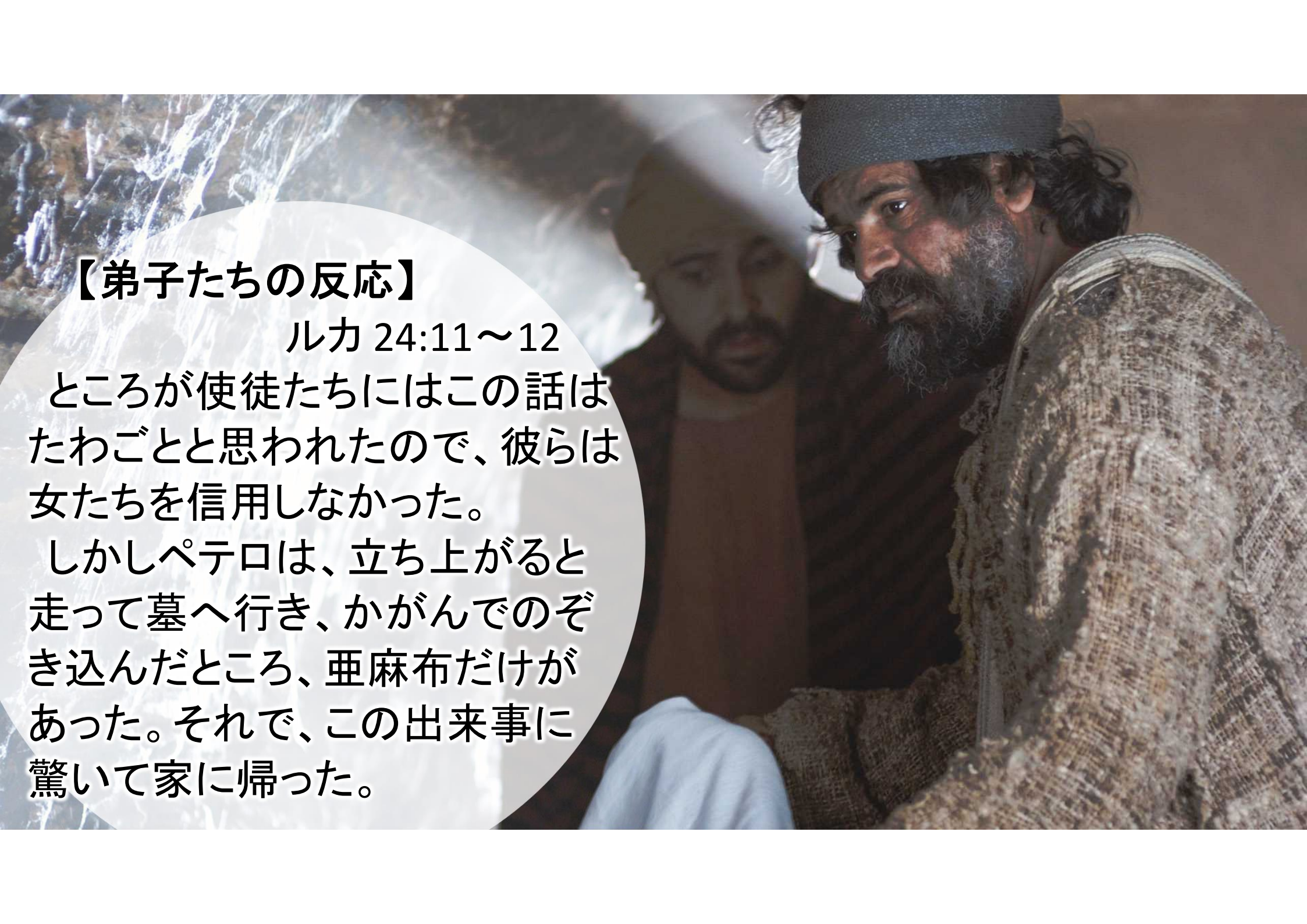
⇒生きておられる主イエスを信頼しよう!!





【弟子たちへの報告】 ルカ 24:9～10

そして、墓から戻って、十一弟子とそのほかの人たち全部に、一部始終を報告した。この女たちは、マグダラのマリヤとヨハンナとヤコブの母マリヤとであった。彼女たちといっしょにいたほかの女たちも、このことを使徒たちに話した。



【弟子たちの反応】

ルカ 24:11～12

ところが使徒たちにはこの話はたわごとと思われたので、彼らは女たちを信用しなかった。

しかしペテロは、立ち上がると走って墓へ行き、かがんでのぞき込んだところ、亜麻布だけがあった。それで、この出来事に驚いて家に帰った。

A serene sunset scene over a large body of water. The sun is low on the horizon, creating a bright, shimmering path of light across the water's surface. The sky is filled with soft, golden light and scattered clouds. A single bird is seen in flight on the left side of the frame. The overall mood is peaceful and contemplative.

IV. まとめと適用

生きておられる主を求めよう

【天使が告げた、私たちが覚えるべき二つのこと】

■1. 主イエスは、復活され、今も生きておられる。

「あなたがたは、なぜ生きている方を死人の中で捜すのですか。ここにはおられません。よみがえられたのです。」

■2. 主イエスは、予告された通り、死を打ち破って復活された。

「人の子は必ず罪人らの手に引き渡され、十字架につけられ、三日目によみがえらなければならない、と言われたでしょう。」

【■1. 主イエスは、復活され、今も生きておられる。】

「あなたがたは、なぜ生きている方を死人の中で捜すのですか。
ここにはおられません。よみがえられたのです。」

■イエスは、どこにおられるのか？

- ①思い出の中ではない。 ⇒過去の記録の中ではない。
- ②頭の中ではない。 ⇒私たちの思考や理性の中ではない。
- ③胸の中ではない。 ⇒私たちの感情によって決まるのではない。

■主イエスは、生きて、大祭司として、父なる神の右に座しておられる。

- ・私たちのすべてをご存知で、
すべての信者の祈りを、父にとりなしてくださっている。
- ・御霊により、私たちの人生のすべての瞬間に、
私たちと共におられる。

【■2. 主イエスは、予告された通り、死を打ち破って復活された。】

「人の子は必ず罪人らの手に引き渡され、十字架につけられ、三日目によみがえらなければならない、と言われたでしょう。」

■ イエスの十字架と復活とは？

- ① 不可抗力ではない。 ⇒ 主イエスご自身が、選択された。
- ② 偶然の出来事ではない。 ⇒ 神による歴史的必然だった。
- ③ 偶発的事件ではない。 ⇒ 神が最初から計画しておられた。

■ 全知全能の神が、世界を造られる前から、決めておられたこと。

それが、**主イエス・キリストの十字架の死、葬り、復活のできごと**

【今、この時代に、すべての人が信じるべきこと】

■1. 主イエスは、復活され、今も生きておられる。

■2. 主イエスは、予告された通り、死を打ち破って復活された。

■この教会時代に、すべての人に求められているのは、
三つの要素からなる福音を信じること。

■すなわち、主イエス・キリストは、

①私の罪のために十字架にかけられ、

②死んで葬られ、

③三日目に、死を打ち破って、復活された。

【福音の意味を、今一度確認しよう!!】

①キリストは、私の罪のために十字架にかけられた。

他の誰でもない、あなたのために、キリストは叫ばれた。

「主よ、彼らをお救いください。自分が何をしているか知らないのです。」

②キリストは、死んで葬られた。

人間として、すべての苦しみを味わわれ、辱めを受けられた。

③キリストは、三日目に、死を打ち破って、復活された。

神の力を持って、死を打ち勝たれた。

主イエスに信頼する者は、死と滅びの恐怖にすら勝利する。

地上に恐れるものは何もない。決して失われることのない平安がある。

【主イエスの現在・未来、約束された私たちのこれから】

■現在のイエス・キリスト

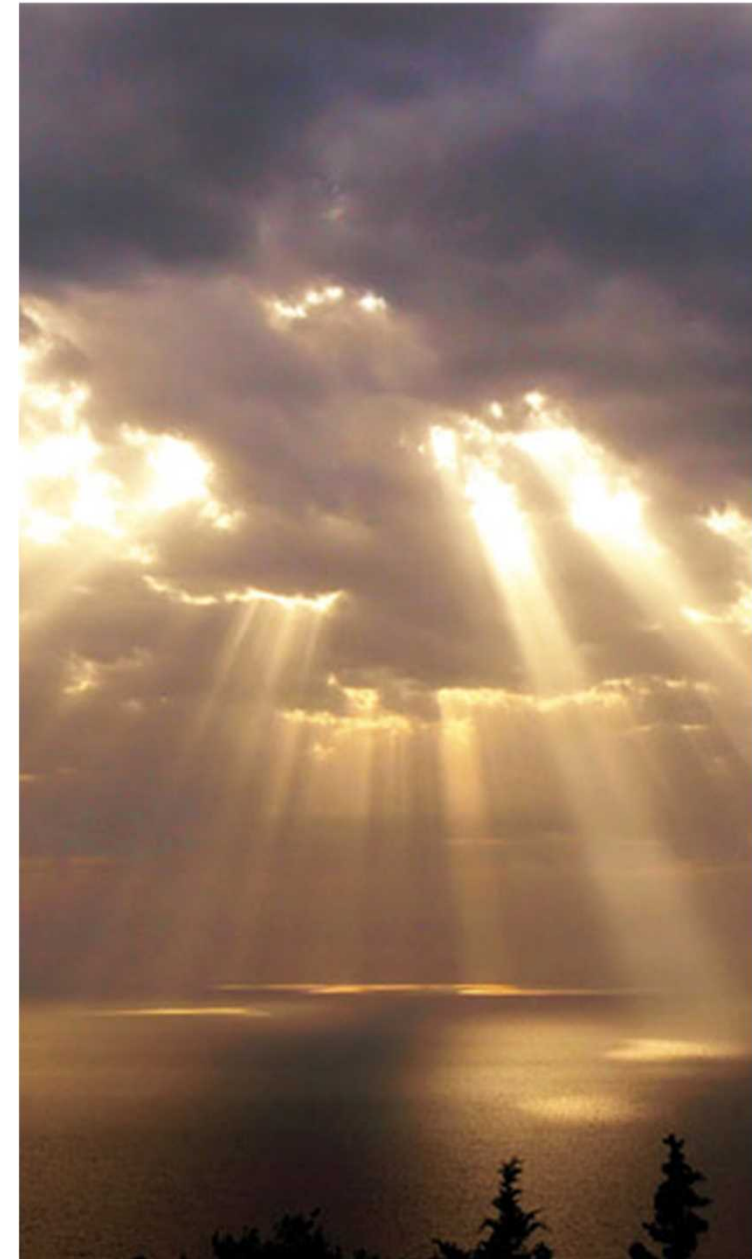
十字架で死に、復活したイエスは、
天に昇り、父なる神の権威の座につかれた。
人々のために、とりなし、祈っている。


■将来のイエス・キリスト

世の終わりに、王の王として戻られ、
地上から悪を一掃し、世界を楽園に回復する。

■約束された、私たちの将来

キリストによって、回復された世界において、
イエスをキリストと受け入れたすべての人々は、
復活の体を与えられて、
永遠の平安を神と共に生きる。



A photograph of a cave interior. The walls are rough and textured. A bright opening in the distance shows a glimpse of the outside world with some greenery. In the foreground, a white cloth is draped over a ledge or platform on the right side. The lighting is dim, with the brightest light coming from the opening.

**「あなたがたは、なぜ生きている方を死人の中で捜すのですか。
ここにはおられません。よみがえられたのです。」**

「天のお父さま。あなたに背(せ)を向(む)けて
歩(あゆ)んできたわたしの罪(つみ)をゆるしてください。
わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

主イエスは、生(い)きて おられます。

ただその真実(しんじつ)を、御霊(みたま)によって、

この身(み)に 刻(きざ)みつけてください。

主(しゅ)イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。

アーメン」